



016
Oishi Haruto
大石 陽斗さん
中央小6年



「比布の子どもたちが、この全国大会に出場するのは監督をやり始めてから今回で4年ぶり6度目の7ペア目になります」。そう語るの、比布町ソフトテニス少年団の監督をしている大川智さん。3月29日に開催された全国小学生ソフトテニス大会に、教子子である大石陽斗選手と長尾健吾選手の2人がペアで参加した。2人は、1月14日に札幌市で行われた第15回北海道小学生インドアソフトテニス選手権大会にて、男子5年生ダブルスの部で見事4位入賞を果たし、全国大会の切符を手に入れたのだ。

「技術的なレベルは決して高くないが、今回の試合では途中からブレイクスタイルを変えたのが功を奏した」と、大川監督は2人の躍進の理由を分析する。そんな2人が戦う全国大会の舞台は千葉県白子町。美しい九十九里浜に面した町で、夏はマリンスポーツのメッカである。一方で白子町は別の顔も持っている。それが「テニス」だ。町の面積は比布町の3分の1ほどだが、町内になんと約340面のテニスコートがあり、多くの大会や、合宿が行われている。テニスプレイヤーにとって、有明と並び聖地と称される場所である。そんな憧れの地に入り込む2人の前には、全国各地から予選を勝ち抜いた猛者たちが立ちまはる。また、敵は相手プレイヤーだけではない。北海道との気温差の大きい大きな負担となる。3月下旬の千葉県は、既に桜が咲いている暖かさだ。監督も、そして選手自身も厳しい戦いであることは認識している。その上で次のように意気込みを語った。「前に山形で戦った別の全国大会とは規模が違う。なのでここでまた1回でも勝てれば自信につな



017
Nagao Kengo
長尾 健吾さん
中央小6年



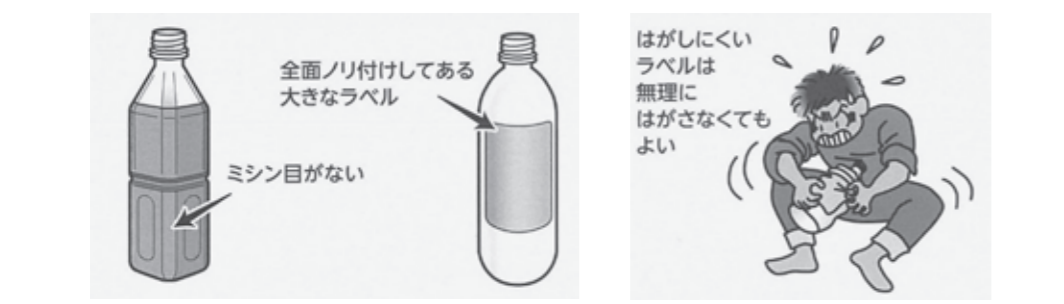
飲み終わったペットボトル ちゃんと捨てていきますか？

昨年4月から捨て方が変わったペットボトル。容易に分離可能なラベルははがして捨てることとなりました。捨て方を確認してみましょう。

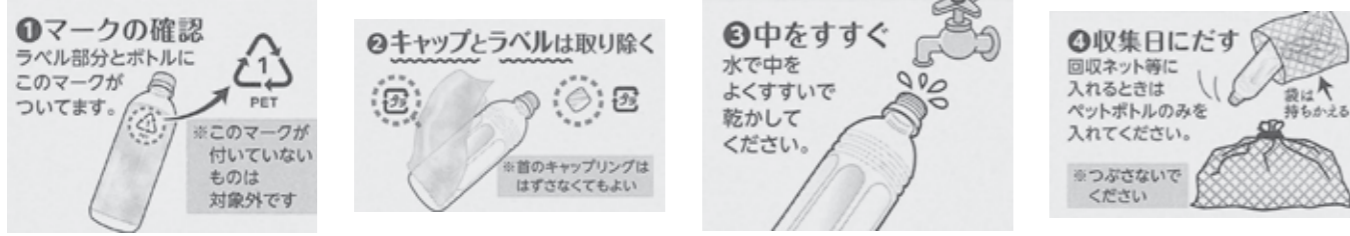
容易に分解可能なラベル ※はがしたラベルは「燃やせるごみ」に出してください。



はがしにくいラベル ※無理にはがす必要はありません。



ペットボトルの捨て方 ※必ず中をすすぎましょう。



【市街地ごみを臨時収集します】
4月・5月の大型連休が長期間となることから、ごみの臨時収集を次のとおり行います。

- 収集年月日 2019年5月3日(金)
- 収集地域 市街地地域(町民カレンダーごみの収集市街地地域)
- 収集するごみ 燃やせるごみ

※収集地域の各ゴミステーションへ収集日の午前9時までにごみを出してください。
※愛別町外3町塵芥処理組合富沢衛生センターへ直接搬入はできません。

【問い合わせ】役場保健福祉課衛生係 Tel 85-4804